

◆活動方針

- 1) デジタル活用した会員ネットワークを強化する。
- 2) 脊髄損傷者への相談支援活動を積極的に行う。
- 3) 会員相互の連携を密にし交流を深める。
- 4) 障がい者就労支援事業を推進する。
- 5) 福祉のまちづくり等、バリアフリーに関する意見提言を積極的に行う。
- 6) 障害者社会参加支援拠点の整備要請を行う。
- 7) 障がい者団体との連携を図り、障がい者施策に関して要請活動を展開する。
- 8) 特定非営利活動法人として組織力の強化、活動の信頼性、透明性を図る。



◆主な取り組み

- ▶ 会員交流の場の積極的な取り組みを予定しています。
- ▶ ゆんたくカフェの各地区開催（3か所）
- ▶ 「沖縄県障害者社会活動補助事業」を受けて、ピアサポート活動の充実化を図ります。
- ▶ 「美らパーキング制度」の当事者利用普及、県民への啓発を行います。
- ▶ 介護等が必要な脊損者・重度障害者自身が望むライフスタイルを選択できるような介護サービスの社会資源整備を法人として取り組む「居宅介護事業等」開設の可能性調査を継続します。

1. ピアサポートの推進

方針

- 1) 同じ障がいを持つ立場の者が、体験を基にしてアドバイスを行う「ピアサポート活動」を推進するためにピアサポーターを派遣し、脊髄損傷者並びにその家族への援助活動を行う。
- 2) 地域にあるバリアフリーな店舗で地域の会員とゆんたくする「地域ゆんたく会」を開催（3か所）。

| 項目 | 時期 | 事業概要 |
|---------------------|-----------|---|
| ①ピアサポート推進事業 | 通年 | 関係機関との連携協力によるチームアプローチに心がけ、リハビリテーション病院等の定期巡回を実施します。※沖縄県障害者社会活動推進補助事業充当予定 |
| ②ピアサポート専門研修の運営協力と受講 | 10月 1月 | 沖縄県障害福祉課主催、沖縄県身体障害者福祉協会事業受託で開催予定のピアサポート専門研修・基礎研修を受講予定。沖縄県障害者自立支援協議会の「ピアサポート部会」において講習カリキュラムの企画立案に参画予定。 |
| ③地域ゆんたく会の実施 | 3回 | 地域にあるバリアフリーな店舗で地域の会員とゆんたくを通して、情報交換、相談援助につながる「地域ゆんたく会」を実施（3か所）。 |
| ④ヘルスケア関連団体ネットワークの会 | 随時 | VHO-net（ヘルスケア関連団体ネットワークの会）沖縄学習会運営委員として参画、年2回開催の沖縄学習会に参加予定。難病等患者会や障害当事者団体との情報交流やスキルアップを図る。 |

2. 人材育成

人材育成を図るために、多様な研修・会議等にメンバーが参加し、スキルアップや連携を図りました。

| 項目 | 時期 | 事業概要 |
|------------------------------|--------------------|--|
| ①全脊連第21回定期総会福岡県大会の参加 | 6/9~10 | リアル・オンラインのハイブリッド総会となった。 ▶代議員:上里、片倉 ▶本部役員:仲根 |
| ②九州ブロック会議及び定例会の参加 | 10/20 7/8 3月 | 全てオンライン開催予定。九州ブロック会議は持ち回りによる鹿児島県支部 主管で開催。▶上里 |
| ③ヘルスケア関連団体ネットワークの会 | 随時 | VHO-net(ヘルスケア関連団体ネットワークの会)沖縄学習会に山入端が運 営委員として参画予定。 |
| ④沖縄県障がい者差別に関する相談員 研修の受託実施 | 未定 | 沖縄県障害福祉課「心のバリアフリー推進事業」を(株)沖縄広告・バリアフリー ネットワーク会議3者のコンソーシアムで受託。相談研修分野を障がい者ITサ ポートおきなわとして担当実施予定。(理事会協議中) |
| ⑤その他の研修等 | 随時 | 沖縄県障害者虐待防止・権利擁護研修等に参加予定 |

3. 交流・文化・スポーツ

方針

1) 社会参加と会員相互間の親睦を図ることや会員同士の情報交換の場づくりを図る。

| 項目 | 時期 | 事業概要 |
|-----------------|------------------------|--|
| ①新年交流会の開催 | 2024年 1月20日 (予定) | 他の民間助成を活用しながら開催する(沖遊協パチンコ・パチスロ補助金) |
| ②車椅子パラスポーツ団体の支援 | 随時 | ピアサポート活動を進めながら、障がい者スポーツクラブとの連携を深める 障がい者スポーツサークル等の活動を動画に記録し、ホームページ上にアップすることにより、障がい者スポーツの理解推進を図る ピアサポートにおける情報提供の一つとして、車椅子スポーツ(バスケット、ラグビー、テニス、マラソン・陸上、ソフトボール等)を希望する方々に、クラブ等団体に橋渡しを行う。 |

4. 広報啓発

方針

- 1) 広報誌しゃりんについて、記事収集・編集レイアウトに苦慮していることから、一部執筆料化を図り、事務局で編集する体制は維持。(全脊連助成の活用)。
- 2) 来年法人創立40周年を記念してホームページのリニューアルを図り、SNS等の定期更新を図ります。
- 3) 障害者差別解消法改正によって、民間適用が来年施行となることから、障害当事者団体として啓発広報に協力します。

| 項目 | 時期 | 事業概要 |
|----------------------------|--------|---|
| ①広報誌「しゃりん」の発行 | 奇数月の6回 | 会員並びに関係者に向けた機関紙「しゃりん」を年6回(5.7.9.11.1.3月)外に出る機会の少ない重度の障害者に対して生活に関する大切な情報を、インターネットを活用して提供するためにホームページ、Facebookの積極的な運用を図る |
| ②Facebook、ホームページ、等SNSの運用 | 随時 | ▶▶適時更新や情報配信を行っている。※Facebook:「沖縄県脊髄損傷者協会」「障がい者ITサポートおきなわ」「障がい者ITサポートセンター」「アクセスおきなわ」 |
| ③障害者差別解消法及び障害者虐待防止に関する啓発広報 | 随時 | 障害者関係法制の改正による周知広報に努めるために関係機関と連携し取り組みます。 |

5. バリアフリーの推進

方針

- 1) 車椅子ユーザー当事者として、バリアフリー社会の構築を目指し県民の理解促進を図り、行政施策等におけるバリアフリー施策の意見提言を行います。
- 2) 沖縄版パーキングパーミット「美らパーキング制度」の当事者・県民への周知広報に努めます。

| 項目 | 時期 | 事業概要 | 経費 |
|-------------------------|----|---|----------|
| ①バリアフリー推進事業の実施(新規) | 通年 | 沖縄県社会福祉振興基金助成として、障がい等による住宅改修が必要となった方々に対する相談援助・助言や道路、建築、公園等といったハード面のバリアフリーと心のバリアフリーを推進するために当事者によるアドバイス活動を実施することで、行政、民間、県民の方々に当事者目線のバリアフリー及びユニバーサルデザインの普及促進を図りる取り組みを実施します。 ①住宅改修相談:対応目標年間5件 ②自治体・民間事業者等バリアフリー関連意見提言活動の実施:対応目標年間60件 ③建築・道路・交通のバリアフリー点検:目標年間8回 | 400 |
| ②バリアフリー化の意見・提言活動 | 通年 | 県や市町村に設置される行政施策協議決定の場に積極的に参画し、意見提言を行います。 ①沖縄総合事務局主管:移動円滑化評価委員会議の参加 ②沖縄県障害福祉課主管:沖縄県福祉のまちづくり審議会の参加 ③那覇市バリアフリー協議会の参加 ④首里城復元に関するバリアフリー対策の意見提言 ⑤都市モノレール駅舎拡充に伴うバリアフリー(特に無人駅問題)への意見提言 | 10 |
| ③沖縄県「心のバリアフリー推進事業」の協働受託 | 未定 | 沖縄県障害福祉課公募事業に、(株)沖縄広告とのコンソーシアム(共同)で応募し実施見込み。「ちゅらパーキング制度の啓発広報」及び「共生社会条例位置づけの差別相談専門員研修」の企画実施を予定している。 | 収入 60 |

6. 障害福祉サービス事業の経営

方針

- 1) IT特化型を推進し、在宅利用を広げます。
- 2) 一般就労を希望する人で、就労に必要な生活面やその他の基本的な課題により一般就労、または就労移行支援事業の利用が現段階で困難と考えられる人に対し、中長期的な支援を行ない、就労移行支援へのステップアップを図っていく。
- 3) 就労及び社会生活に必要な基本的な生活リズムの構築、生活意識の向上、社会性の向上を図る。そのため、作業以外の活動にも積極的に取り組むとともに、利用者同士のコミュニケーションや関係作りの支援を行う。
- 4) 支援スタッフの処遇改善として、一時金の支給に努めます。
- 5) 利用者の賃金・工賃の評価の仕組みを検討し処遇改善に努めます。
- 6) 居宅介護事業（重度訪問、同行援護、移動支援含む）の開設の可能性調査・検討をします。

| 項目 | 時期 | 事業概要 |
|---------------------------|--------------|---|
| ①障害者就労継続支援A型事業 (定員10名) | 通年 220日開設 | ▶スコア評価点数を170点以上の維持を目標に各項目達成を目指すとともに、月平均賃金のアップを目指します。(令和4年度実績103,772円) ※参考:令和3年度全国の月平均賃金額81,645円/沖縄県71,015円 ▶ウェブアクセシビリティ売り上げアップを図り収益比率を高めます。 |
| ②障害者就労継続支援B型事業 (定員20名) | 通年 220日開設 | 就労継続支援B型:月平均工賃額のさらなるアップを目指します。 (令和3年度実績17,990円) ※参考:令和3年度全国の月平均工賃額16,507円/沖縄県16,016円 |
| ③居宅介護事業所開設の可能性 調査 | 通年 | 市場調査、資金計画、事業拠点検討を図り、開設の可能性について継続して検討していく |

7. 受託事業（沖縄県障がい者ITサポートセンター事業）

方針

- 1) コロナ禍で実施されていなかった多様な障がい者ICT支援関連の講習会、セミナー等を積極的に開催します。
- 2) 離島における支援体制整備を図るために宮古地区担当の地域協力員配置を早急に図ります。
- 3) テレワーカー育成を図ります。

| 項目 | 時期 | 事業概要 |
|---------------------|----|---|
| ①ITに関する相談支援 | 通年 | ▶各地域に出向いた出前相談会等を開催します。(年2回) ▶アウトリーチ対応を促進します。(直接支援から間接支援へ) |
| ②ICT支援機器の貸し出し、展示・体験 | 通年 | ▶体験・展示コーナーを整備し、情報提供するとともに、必要に応じてお試し機器貸出を推進します |
| ③教室、講習、勉強会等の開催 | 通年 | ▶アクセシビリティ講習会:6月・8月(難病者向け) ▶出前講座・パソコン講座:10月・12月 ▶エッセンシャルワーカー向け研修:1月 ▶テレワーカー入門講座:1月 ▶IT関連事業所連絡会:2月 |
| ④ITサポートスタッフ体制 | 通年 | ▶職員2名(ITサポートコーディネーター1名、IT支援員1名) ▶宮古島地区担当の地域協力員配置を早急にします。 ▶ICT支援サポーター養成講習会等を通して、ボランティア育成を図り身近な地域での簡易な相談等に対応していただきます。 |
| ⑤その他の研修等 | 通年 | ▶県外視察・研修(7月) ▶テレワークに関する支援・連携 ▶ICT活用実践している方の動画制作を図り、アーカイブ化し情報公開する |

8. 法人の適正運営

方針

1) 特定非営利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会として組織力の強化、活動の信頼性、透明性をはかりながら活動し、福祉サービス事業の経営等を模索し、運営の安定化や会員と共に協力しながら、豊かな地域生活が送れるよう活動します。

| 項目 | 時期 | 事業概要 |
|------------------------------|---------------------|--|
| ①第11回通常総会の開催 | 6/25 | 3年ぶりのリアル総会予定。 |
| ②理事会及び三役会の開催 各専門部会の開催(新規) | 3回 6回(奇数月) 適時 | 参加率を高め、定期開催化を図ります。 |
| ③監査の実施 | 5/10 | 監査役の横田清(沖脊協の創設者)で事業及び会計監査を行います。 |
| ④就労支援スタッフの処遇改善 | 適時 | 就労支援業務職員の福利厚生制度の充実化として、一時金の導入や交通費等制度化を検討します。 |
| ⑤事務局体制 | 通年 | ▶事務局員(具志理事)と共に、就労支援業務職員に法人事務を分掌し、円滑な事業執行、会計業務に繋がります。 |

9. 事業計画一覧

| | 沖縄県脊髄損傷者協会 | ITサポートおきなわ(就労支援) | 沖縄県障がい者ITサポートセンター(県委託) |
|-----|--|------------------|--|
| 4月 | | ビジネスマナー研修 | 県・関係団体への事業説明 |
| 5月 | 会計監査(5/12) しゃりん163号発行 | レクレーション① | 協力員を入れての運営会議 |
| 6月 | 法務局・NPOプラザ報告 全脊連通常総会(6/9・10) 第1回理事会(6/17) 総会(6/25) ゆんたくカフェ(中部地区) | スキルアップ研修会 | 沖縄市民講座講師派遣(川田) スマート家電活用勉強会 県外支援機関へのアンケート依頼 |
| 7月 | スマート家電活用勉強会 労働保険・社会保険料算定 しゃりん164号発行 | 職員研修① 職員健診 | 県外視察・研修(川田・知念) 県外支援機関へのアンケート依頼 |
| 8月 | ピアサポーター養成講習会 | レクレーション② | 難病者向けアクセシビリティ講習会 |
| 9月 | しゃりん165号発行 ゆんたくカフェ(南部地区) | 防災訓練① | 協力員を入れての運営会議 |
| 10月 | 上半期決算報告 中間報告理事会 九州ブロック会議 ピアサポーター専門研修 | スキルアップ研修 | 出前講座・パソコン講座①(那覇市開催) |
| 11月 | ゆんたくカフェ(那覇) しゃりん166号発行 | 職員研修② | 関係団体との情報交換会 |
| 12月 | 年末調整提出 | 忘年会(実行委員会) | 出前講座・パソコン講座②(沖縄市開催) |
| 1月 | 新年交流会 しゃりん167号発行 ピアサポーター基礎研修 | ビジネスマナー研修 | エッセンシャルワーカー向け研修(好事例報告) |
| 2月 | 介護サービス意見交換会 | 防災訓練②/職員研修③ | IT関連事業所連絡会 |
| 3月 | しゃりん168号発行 予算・計画理事会 | レクレーション③ | |